アウクスブルク滞在記

髙野 莉沙

1. はじめに

今回、私は８月 29 日～9 月 7 日の約１週間、尼崎市青年使節団の一員としてドイツのアウクスブルク市を訪問させていただきました。私にとって初めての海外で不安もありましたが、団員のみんなや現地の方々と関わり、とても有意義な時間を過ごすことができました。そんな滞在中の思い出をここで紹介させていただきます。

2. ホームステイ

私のホームステイ先は、ホストマザーが日本とドイツのハーフであったこともあり、至るところに日本らしいものがありました。特に、立派な日本庭園があったことが印象に残っています。ホストマザーが流暢に日本語を話されたので意思疎通をうまくとることができたのに加えて、お互いの普段の生活などたくさんのことをお話しすることができました。また、7 歳のホストシスターがよく私を慕ってくれて、一人っ子の私は、妹ができたように感じられてとても嬉しかったです。

7 日目のホストファミリーとの１日にはミュンヘンに行きました。朝は雨が降っていて少し心配でしたが、ミュンヘンに着くとすっかり晴れていて暖かかったです。ミュンヘンではお土産を見たり、時計台の中に入ったり、お城を訪ねたりしました。ニンフェンブルク城で綺麗な小物入れを買っていただき、とても嬉しかったです。行き帰りの道中、車内でホストシスターたちがひらがなの勉強をしており、私が先生のように教えることもありました。日本人として日本から遠く離れている国の子どもたちが日本語を学んでいることが喜ばしいことだと感じました。



3. 使節団のアクティビティ

団員たちでもたくさんの施設に訪問させていただきました。特に記憶に残っているのはやはりノイシュヴァンシュタイン城です。遠くから、近くか

ら、外も中も見ましたが、どこから、どこを見ても圧倒されました。天気が快晴であったこともあり、美しい写真をたくさん撮ることができました。中は絵画に囲まれていて、到底ここで生活していたとは思えないほどでした。事前に大学の授業でノイシュヴァンシュタイン城について勉強していたので、より理解を深めることができました。

また、食べ物について、海外の料理ってどんなものなのだろうと思っていたのですが、どれもおいしいものが多かったです。少し量が多く、食べきることができないこともありましたが、基本的においしく食べられました。特に、カツレツのようなシュニッツェルが好きでした。ドイツらしいプレッツェルやソーセージも食べました。職業訓練施設でいただいた、バターを挟んだプレッツェルがとてもおいしかったです。飲み物もたくさんあり、コーラとオレンジジュースを混ぜた Spezi というドリンクがとてもおいしかったです。日本に帰ってからもコーラとオレンジジュースを自分で混ぜて飲みました。



4. おわりに

自分にとって初めてのことばかりだったこのアウクスブルクの滞在は、当初感じていた不安を全て吹き飛ばしてくれるほどとても楽しく、実のあるものになりました。ここで得た経験、知識をこれからの生活に活かしていけるように一層努力していきます。また、ホストファミリーや団員のみんなとの交流をこれからも続けていきたいです。

最後に、このプログラムはたくさんの方にご協力いただいて成功させることができました。携わってくださった全ての方に感謝を申し上げます。

